

# 学校から保護者に伝えたい 2つのこと

子どもたちのインターネット利用が日常的なものとなっている一方で、ネット上の友だちとのやりとりでトラブルを起こしてしまったり、長時間利用による生活のリズムの乱れや依存に陥ったりする子どもたちが後を絶ちません。

お便りや懇談会等の機会を活用して、全ての保護者に対して次の2つの点を伝えましょう。

## 家庭内のルールは子どもと一緒に考えること

家庭内におけるルールづくりのために、

- 子どもたちのネットトラブルの実態
- 使用する「時間」や「場所」にかかわる約束の例
- 一方的にルールを押しつけせず、子どもと一緒に考えること
- 子どもたちの成長に合わせてルールを見直すこと

などについて、伝えましょう。

夜おそくまでスマートフォンを使うのはやめてほしいな



夜の10時以降は使わないようにするよ



本当にやめられる?



じゃあ、10時になったら、リビングに置いてくね!



OK!!

## 「あんしんフィルター(フィルタリング)」を設定すること

最低限のリスクマネジメントとして、必ず「あんしんフィルター(フィルタリング)」を設定することを伝えましょう。また、子どもの発達の段階に合わせた設定ができることも伝えましょう。



## 指導の要点

子どもたちのインターネット利用においては、多くの児童生徒がかかわる問題であるため、個人の努力だけでは改善ができないことも多々あり、各家庭内でのルールだけでなく、学級や学校全体におけるルールも必要です。

道教委で実施した「望ましいインターネット利用に向けた環境醸成推進事業」の報告書に、研究協力校の実践を掲載していますので、取組の参考としてください。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/seikatsushukan-siryou.htm>